

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

# 地域の活動



## Vol.26

2018年9月発行

### 多様な集いの場で地域のつながりを再構築

#### 「あったかふれあいセンター愛ハピネス」



今回の「地域のいきいき活動」は、「あったかふれあいセンター愛ハピネス（以下、愛ハピネス）」についてご紹介します。

愛ハピネスは、国見地区に拠点を置く子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが自由に立ち寄れる、集える多機能拠点施設です。愛ハピネスでは、制度サービスでは行き届かない様々な生活支援や定期的な見守り、配食サービス等、柔軟性を活かした多様な支援を展開しています。

また、近年では認知症の正しい理解を深め、地域全体で認知症の方を支援していくことを目的とした「認知症カフェ」や全国的に広がりを見せている「子ども食堂」といった集いの場も行っています。



- 開所日：月曜日～金曜日  
(土・日・祝日はお休みです)
- 利用時間：8：30～17：00
- 利用料：無料（昼食は500円）

今回の取材にお伺いした日は、大川筋地区の高齢者の方々が多く集まっており、指体操やリズム運動、脳トレを楽しみながら介護予防に取り組みました。

利用者の方にお話を伺ったところ、「色々な地域の人と仲良くなれていい。」「心も身体も元気になる。」「と、喜びの声がかかれており、集いの場で人と人とのつながりが形成され、生きがいとなり、外出機会が増えることで自然と介護予防にも繋がっていることがわかりました。

職員の皆さんからは、「より多くの方に集いの場を利用していただき、支え合える地域づくりを住民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。」と力強く話してくださいました。